

阿波おどり本番を前に、落書き消し実施

8月4日、杉並区及び杉並警察署、地元町会、東京高円寺阿波おどり実行委員会のメンバーらによる落書き消去活動が行われました。実施場所は、高円寺駅南口に伸びる高南通りを中心としたエリアで、高円寺の阿波おどりの開催を前に、まちの美化を図ろうとするもので、およそ60名が汗を流しました。

本日4日午後2時、高円寺駅北口広場には、60名のメンバーが集合。メンバーは、東京高円寺阿波おどり実行委員会や地域町会、関係機関から参加して、高円寺駅周辺の掲示板や消火器ボックスなど40か所ほどの落書き消去や貼り紙撤去を実施しました。この活動は、環境美化を図ることによって、犯罪の起きにくいまちづくりを推進するため、今年29日・30日に開催される高円寺阿波おどりを前に行われたものです。高円寺阿波おどりは、毎年1万人の踊り手と100万人の観客が見込まれる東京の夏の風物詩となっていることから、まちをきれいにすることによって、大勢の観客に気持ちよく観覧してもらい、まちのイメージアップに繋がるものと考えています。

60名の参加者は、4～5名ずつのグループをつくり、前もって調べておいた落書きの酷い場所を目指しました。落書きや飲食店などの営業ビラなどで埋め尽くされた消火器ボックスなどでは、メンバーがヘラや薬品などを使って、落書き・貼り紙を丁寧に取り除いていきました。実施場所は、高円寺駅から青梅街道へとつながる高南通りで、およそ400メートルの範囲に点在していて、真夏の日差しが降り注ぐ中、作業が行われました。

作業に参加したメンバーの一人は、「ここは、阿波おどりのメイン会場となる場所で、踊り手にも観客のためにも、きれいにしてやりたいと思って頑張ります」と汗をぬぐいながら話していました。およそ2時間の作業で、見違えるほどきれいになりました。



【問い合わせ先】

危機管理室地域安全担当：3312-2111 内線 1582